

2008年度今後の課題

書記長・工藤秀博

取組の更なる強化を 昇任選考・級格付選考・昇給査定



「2008年度昇任選考」の今後の課題

①2011年度の格付制度の終了までに給料表2級からの主任選考応募者を積極的に働きかける取組み。

②資格者全員が受験しやすい環境をつくる取組み。

③毎年、安定的な人数の昇任選考をさせ、3人に1人、2人に1人の設置基準を目指す取組み。

④今後、退職による技能長欠員を安定的に補充・確保できる制度を求める取組み。

「2008年度格付選考」の今後の課題

2008年度の格付選考から支部で課題であつ

任長任部	掃合部
責員責伝	清組支
行委宣	京働京
行集育	京働京
発執編教	東労文
2008年07月15日 第70号	

た3級格付資格基準に主任歴が必要となる。

2011年度の格付制度終了までの残された期間で、07賃金確定闘争の結果を踏まえた取組みとして「格付けをしても処遇改善に結びつかない組合員」「各組合員の年齢、給料級号給」の十分な把握などをした上での新たな優先的な格付けへの取組みについての支部討議が必要である。

「2008年度昇給査定」の経過と今後の課題

新たな人事考課制度による昇給査定は支部として完全な取組みを行なうことができなかった。

東京都時代からの特別昇給の取組みでは組合員間の公平かつ平等を重視し、当局へ対して「申し入れ」を行い、事前の名簿も付け合わせ、情報

当面の予定

◎原水禁広島大会

8月4日(月)～6日(水)
広島

◎第20回全労協定期大会

8月24日(日)～25日(月)
箱根

◎自治労中央本部定期大会

8月26日(火)～29日(金)
千葉

◎第77回東京清掃本部定期大会

9月28日(日)
全電通会館ホール

提供を踏まえた上での組合推薦名簿通りの完全実施など行なわせてきた経緯から反省すべき点であり、結果として

07年度、08年度と2年連続A・B区分昇給が複数という結果を招いてしまった。

新たな人事考課制度の評定が制度上、「昇任選考・級格付選考・昇給査定」と評価が一本化となり、重視した取組みに偏りが出てしまった結果、満足な取組みができなかった。

今後の取組みとして

昇任選考・級格付選考同様、きめ細かな対応と、07年度賃金確定闘争による「昇給しても保障額に届かないなど」の実態を踏まえた上で2009年度以降の取組みでは、各組合員の年齢、給料級号級、退職時まで賃金の推移などを十分把握し組合員間の公平性・平等性を確保して昇給させる目的の取組みが必要であり、さらなる強化を図ることが重要課題である。

（2面に続く）



私の趣味は釣りです。

溪流釣りや海釣りなどもやってきましたが、最近には主にへら鮎釣りです。

▼1960年代後半、当時勤めていたリーガル社に野球部や釣り部などしがなく、またギャンブルは今以上に周りの見る目が厳しかったので、半ば無理やり釣り部に入られました。へら鮎釣りはこの頃からの趣味で、入都後も自分の大切な趣味として続けてきました。

▼先日、例年参加している「第二地連へら鮎釣り大会」がありました。早朝2時起床で、おまけに生憎の雨でした。釣果は芳しくなかったのですが、趣味を同じくする仲間と楽しいひとときを共有できたのは有意義でした。

▼へら鮎釣りは地味ですが奥が深い遊びなので、皆さんも始めてみませんか。道具もあるので、声をおかけください。一緒にやりましょう。

【S】

（1面から続く）

2008年度の昇任選考・級格付選考は身分切り替え後、2回目の選考となった。

2007年度の昇任選考・級格付選考は東京都時代からの経緯を反映した取組みができていない課題を残した中でスタートとなった。

東京都の制度（資格）

から新たな制度に変わり、A主任がなくなった主任選考となり、主任選考の資格基準に経過措置がとられるなか、支部としては「処遇改善の位置付け」とし、「全組合員が3級で退職できるように」をこれまでの取組みと変わらない方針とした。

主任の設置基準については特区連統一交渉では10%枠が確認されているが、最低4人に1人の配置を基本と、現在の主任が今後退職することを踏まえ、今後を見据えた配置基準を行わせる方針とした。

また、昇任選考に連動

している級格付選考も資格基準に経過措置があり、また、07賃金確定闘争の結果により、支部方針に混乱を極め、「実質的な処遇改善」か「支部事情を踏まえた取組み」のどちらか難しい判断となった。

「2007年度昇任選考」の経過

2007年度は文京支部において収集8名、事業所整備1名で9名の主任が退職者となることから、最低8名の補充をさせるとともに2009年度10月からのサーマルリサイクル本格実施にむけた準備を踏まえ、都歴、区歴の長い比較的高齢の組合員の豊富な経験と知識を活用した選考を強く求めた。

当局から提案された

「主任職昇任選考実施要綱」の①筆記試験実施②面接試験、休日実施③合格枠10%に対し断固反対し、連携をとれる内容についてはは区職労とも連携し、①筆記試験については阻止することができ

また、清掃職場における選考枠、選考基準についてはは昨年度からの課題としてきた、きめ細かな折衝を職員課、リサイクル清掃課、所属長などに行ない、「清掃職場の歴史と理解」「サーマルリサイクル本格実施に向けた」主任の選考と必要人数など、何度も足を運び理解を求めた。

結果として合格者数は収集で7名、事業所で1名と合格枠10%を15%にさせ、配置状況は概ね4人に1人の主任配置となった。

文京区の選考傾向とし

「若年層」からの選考があり、清掃においても比較的若い組合員の選考が1名あったが概ね満足する内容であった。

「2007年度級格付選考」の経過

級格付選考は制度変わりによる経過措置により、昨年度、主任以外の組合員の3級昇格者が数名出てしまい支部内に混乱がおきた。

東京都時代から支部としては主任資格がでた全組合員に対し受験するよう薦め、個別に説得もしてきたが、残念ながら望まない組合員には尊重し

てきた。

一方で、「主任職」の道を選んだ組合員は他ならず、3級で退職をするためである。この間主任職はめまぐるしく変わる清掃事業への対応に決して楽ではない、むしろ過酷な選択となっている。

このような状況を踏まえ支部としては、何度も支部討議を重ね、支部としては3級昇格者への方針は「主任職を持つ組合員を最優先とする判断」をし、全組合員への説明、経過措置による資格を持った主任職以外の組合員には個別に説明・理

時間以上にわたる地連別分散会がメインとなり、07賃金確定闘争についての議論や各支部

解を求めた。

当局との交渉については、昇任選考同様、きめ細かな折衝を職員課、リサイクル清掃課、所属長などに行ない理解を求めた。

3級昇格率は資格者14名に対し、35%以内の格付率だと4・9名となり実質4名となることを切り上げの5名を強く求め、結果5名の3級格付者を勝ち取ることができた。

また、5名全員が主任職を持つ、年齢、都歴・区歴、主任歴と公平かつ民主的な結果となった。

われました。

今は新規採用の獲得が大変難しく、どの区においても大変厳しい状況があり、組合員が進んでいるところもあるようですが、こんな時だからこそ私たちの要求実現、定年まで働き続けられる職場作りに向けて、より一層の団結が必要になるのではないのでしょうか。

【松澤貴弘】

一層の団結が必要

東京清掃2泊3日組織集会

6月7日～9日にかけて、箱根路「開雲」にて行われた、第33回組織集会に有田中央執行委員、緒方組織部長とともに参加をさせていただきました。今まで青年部関係の宿泊動員はたびたび参加してきていたが、本部や各支部の委員長、書記長が参加者のほとんどをしめていたこともあり、多少の緊張と心配もあり

ました。ところが行ってみれば、地連常任委員会や青年部活動の中で顔を合わせたことが

ある人も多数いて、思ったよりも楽な気分です。参加ができました。

内容はトータル約8

からの「20年度作業計画」「07年度昇任選考・級格付選考」の総括の報告と議論などが行

第二地連通信

生命と権利、生活を守る

「第二地連」横のつながり強め

2000年4月、清掃事業が23区に移管されました。移管された事により、本部の組織整備方針

に基づき、4区5支部で構成する第二地連が新たに発足しました。そしてこの間、地連と



各職場の報告を熱心に聞く第二地連各支部の参加者

このたび、文京支部が所属する第二地連の機関紙『第二地連新聞(暫定仮称)』が創刊されたので、『第二地連通信』として、内容をご紹介します。
※『第二地連新聞(暫定仮称)』基調記事執筆の第二地連議長・鈴木康司(台東支部)さんは、文京支部の再任用職員・青木敏雄さんのご親戚です

して新たに現業部を立ち上げ、各支部での作業計画の状況等の意見交換をしています。

また、地連の強化を行うために、毎年一泊学習会を開催し、その中で各支部での意見交換・基調

提起、フリートーク等で各支部での職場実態等、本音の議論をしています。

更に、ソフトボール大会・釣り大会、ボーリング大会等を開催し、より一層の交流を行いながら、仲間作りをしています

す。また、必要に応じて学習会等を開催しながら情勢の正しい認識をして、闘う体制を強化しています。

最後に、第二地連として、今まで以上に、学習と交流を行い、横の繋がりをし、職場からの運動を強化します。そして、本部に結集して「生命と権利、生活」を守る為に、闘ってまいります。共に頑張りましょう！
第二地連議長・鈴木康司

荒北の文

第二地連各支部協力の下、『第二地連新聞(暫定仮称)』創刊号の発行である。わずか1ページというささやかな第一歩ではあるが、しかし確かな一歩として、今後の偉大な歩みへと続き、第二地連各支部を繋ぐ一つの場となつてほしい。

このコラム欄も、様々な方々によって充実していくことを願う。【T】

一泊学習会 参加報告集

荒川支部

今回、私は常任として、初めて第二地連一泊学習会に参加してきました。初日、普段あまり接することのない他支部の方々との交流会は、大変盛り上がりしました。二日目の学習会では、サーマルリサイクル実施に伴って各区の現状が良く分り、大変勉強になりました。

【浦井英昭】

ました。次回、このような集まりがあれば参加し、今後の活動に生かしていきたいです。

北支部

7月5・6日の学習会に参加してきました。各支部の「20年度」

総括の報告がありました。その中で、退職者不補充、定数削減による委託、職員の欠員分は、派遣や臨時職員での対応、またサーマル

北工場支部

北工場総人員35名の半数が区の職員で、定数が下がれば東京23区清掃一部事務組合職員が異動対象となる。同じ職場で働き続けることが困難で、技術技能

継承がされないなど、問題を抱えている。収集職場も委託化が進み、サーマルリサイクル実施による仕事増・人員削減から、働くことが困難な状況が報告された。賃金についても削減され、能力の無い者は昇給すらない格差社会に立たされている。

学習会に参加し交流することで現実の厳しさを知り、何とかしなければならぬ。労働組合の強化以外にない。【小泉勝久】

第二地連
へら鮎釣大会

小林名人3位入賞

他の三人は散々な成績

6月22日(日曜日)、第二地連へらブナ釣り大会に、わが文京支部は、高橋・斉藤・小林・大木の4名が参加して来ました。雨の降る中、朝4時30分に茨城県の管理釣り場「兎谷津(うさぎやつ)池」に集合し、文京支部の初優勝を夢見ていざス

タートしましたが、6月という季節にもかかわらず冷たい雨のせいでしょうか、はたまた日曜日で、へらブナもお休みなのか？餌の食いが悪く、午前中は、魚の顔を見ることができない人が多い中、私もその中の一人でした。そんな中、文京のエース

小林名人は、順調に釣果を上げていきました。

午後になると、雨もポツポツとなり、あちこちで釣れ始めましたが、私の釣果も少しは上がったもの、の終了時間となってしまいました。小林名人は、3位という好成绩でしたが、残りの3人は、とうとう：な、成績で、どちらかというとなかなかという散々なへらブナ釣り大会で終わってしまいました。来年もへらブナ釣り大会があれば、もう少し頑張りたいと思います。

【大林茂】



文京支部最高の3位入賞を果たした小林名人

第8回第二地連へら鮎釣大会成績表(参加25名)

氏名	釣果	順位	支部
宇田秀雄	11.0kg	優勝	荒川
柴井兼明	6.4kg	準優勝	台東
小林利光	3.0kg	3位	文京
金子義男	2.9kg	4位	台東
吉岡 弘	2.9kg	5位	台東
大林 茂	2.8kg	6位	文京
芳賀幸雄	2.1kg	7位	台東
近藤 勇	2.0kg	8位	荒川
山崎政男	1.7kg	9位	北
斉藤 実	1.6kg	10位	文京
山田和男	1.4kg	11位	台東
中村勝利	1.2kg	12位	台東
高橋 明	1.2kg	13位	文京
石綿隆次	1.0kg	14位	荒川
平石 大	1.0kg	15位	荒川
昼間一男	1.0kg	16位	荒川
泉田和明	0.9kg	17位	北
岡崎秀夫	0.8kg	18位	荒川
橋 均	0.6kg	19位	台東
鈴木義明	0.3kg	20位	台東
岩井博行	0.0kg	21位	台東
鈴木康司	0.0kg	22位	台東
大橋英美	0.0kg	23位	台東
高橋 悟	0.0kg	24位	北
佐藤公一	0.0kg	25位	台東



真剣な眼差しで浮きを見つめる文京チーム

初の3位入賞
小林さんから

3位入賞の小林さんからコメントをいただきましたので、以下にご紹介します。(編)

これほど釣果が悪かった大会は、今回が初めてでしたが、恥ずかしながら3位入賞を果たすことができました。

来年以降は、参加することに意義ありの精神でがんばりたいと思います。参加者が減少傾向なので、興味のある方はぜひ一緒に参加しませんか。手取り足取りお教えいたします。

【小林利光】